

サンプル

内容・デザイン・レイアウト等、仮の状態です。
構想策定に向けて再度組み直しを行います。

資料 5

柏市図書館再編構想 — 全体の流れ（案） —

2026.07.06

目次

- 01 策定の背景
- 02 市民からの意見
- 03 柏市図書館の目指す姿
- 04 施設整備
- 05 管理運営
- 06 ロードマップ

01 策定の背景

はじめに

- 策定の背景（の説明）
- 『柏市図書館のあり方』（の要約）
- 『柏市図書館のあり方』の実現に向けた柏市図書館再編構想の策定方針（の要約）



○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○（今後の図書館の在り方についてのキャッチフレーズ）

図書館が「読む」「借りる」だけでなく、様々な学び、使い方、体験を提供する

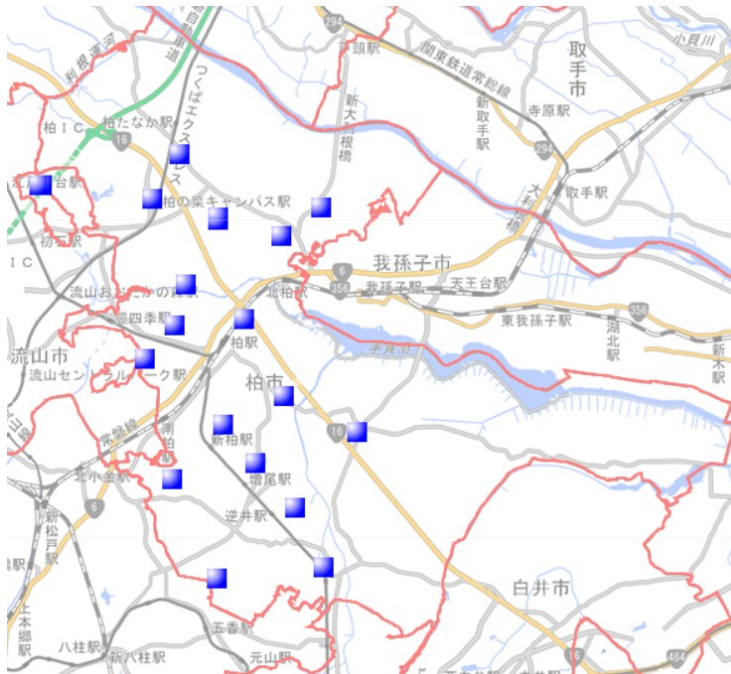
必要とされ、訪れたいくなる図書館へ

当事者＝市民の皆さんがこのプロジェクトを自分たちのものであると思えるものとする

行政と市民が共に考えていく

柏市図書館の現状

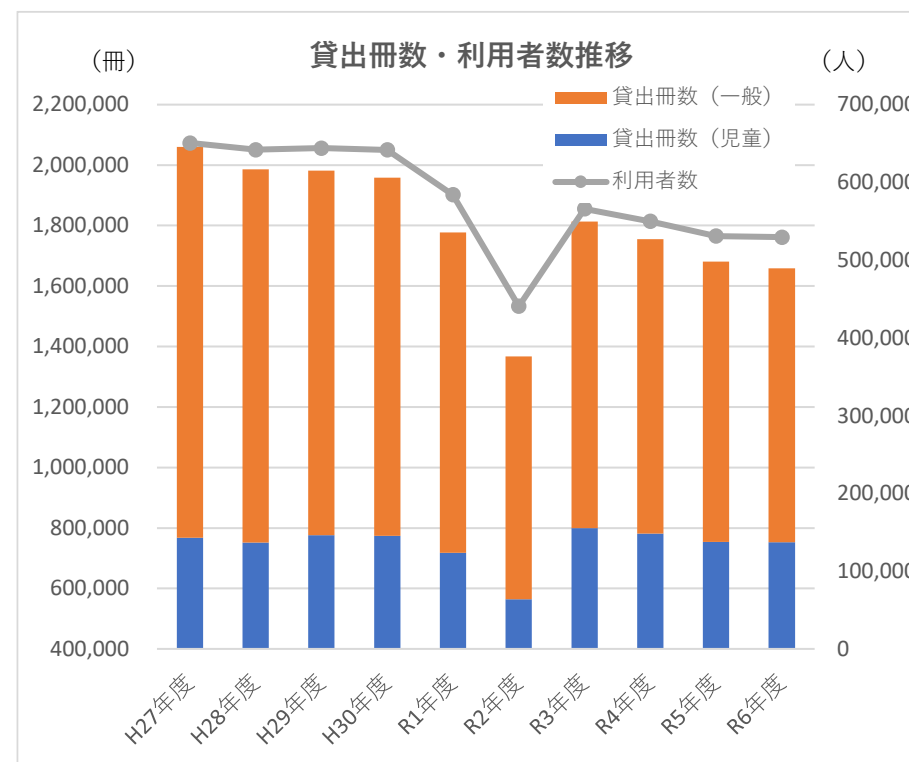
- 1本館、17分館、1サービスポイントによる図書館網
- 市民にとって、身近な図書館サービスが受けられる
- 一方で、多くの施設で築40年以上が経過、老朽化が進んでいる
- 利用者の過ごす空間は限られているため、本を読む、借りる以外の目的で訪れる動機が乏しい
(など、現状分析を記載)



柏市図書館の利用状況

- 全国的な公共図書館の利用者が減少傾向にある中で、本市の利用も年々減少
- 利用状況は、過去10年で一般の利用者が減少している
- 児童書については、コロナ禍を除きほぼ同程度で推移

(など、利用状況を記載)



市全体の特性

- 本市は、大きく 4 つのエリアで特性が異なる

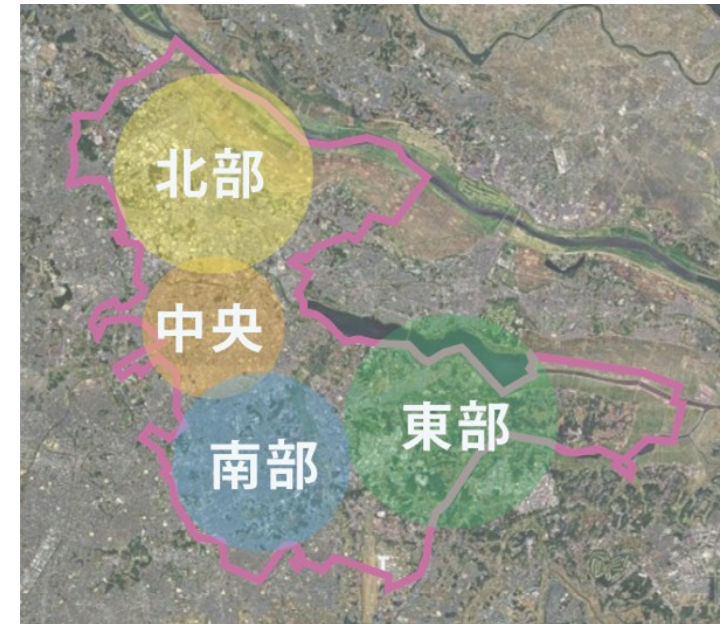
中央・・・・・・・・・・ 商業・文化の拠点

北部・・・・・・・・・・ TX沿線を中心に次世代都市として開発が進み、子育て世代が急激に流入し、活気づいている

南部・東部・・・ 閑静な住宅街、豊かな自然や地域コミュニティなどの資源がある

- 北部エリア、南部・東部エリアの魅力をそれぞれ最大点に引き出す再編構想が必要
- 市全体として、多様で豊かな暮らしを創出することに、図書館も寄与する

(など、市全体の特性を記載)



02 市民からの意見

市民からの意見

- 講演会・ワークショップ
- 分館でのポップアップライブラリー
- ヒアリング・イベント出展
- 情報発信

今後実施し、
結果・まとめを掲載
する

03 柏市図書館の目指す姿

柏市図書館の目指す姿

VISION

○○○○○○○○○○（理想的な姿／図書館がまちにもたらす未来）

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○。（説明）

MISSION

1. ○○○○（VISIONの具現化の手段／図書館ができること）

2. ○○○○

3. ○○○○

（以下、策定方針より）

- 様々な学びや使い方をしたくなる「みんなの居場所」となる
- アクセス性の良い柏駅周辺に新たな施設を整備
- 市民一人ひとりの楽しみ、学び、課題の解決を支え、可能性を広げる
- 『静』の空間と、『動』の空間などを設ける など

柏市図書館の目指す姿

CONCEPT

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

(誰にとっても分かりやすい言葉で、指針を定める)

= p.4のキャッチフレーズ

柏市図書館の目指す姿

本館・拠点館・分館の位置づけ（以下は策定方針の内容。今後アップデート）

本館

- 市民の生活と文化的活動を支え、交流や新たな価値を生み出す拠点とする
- 市が所蔵する資料をできるかぎり集中的に配架する
- 市民一人ひとりの楽しみ、学び、課題の解決を支え、可能性を広げる
- 地元を知り、発見することで、地域の個性を輝かせる

拠点館

- 「みんなの居場所」となることを前提に、一定量の資料配架や座席数を備える空間を確保する
- 本館の方向性である「静と動の空間」、学びのスペース等の機能を備える
- 各エリアの特性を踏まえた資料配架や展示等により特色を持たせる

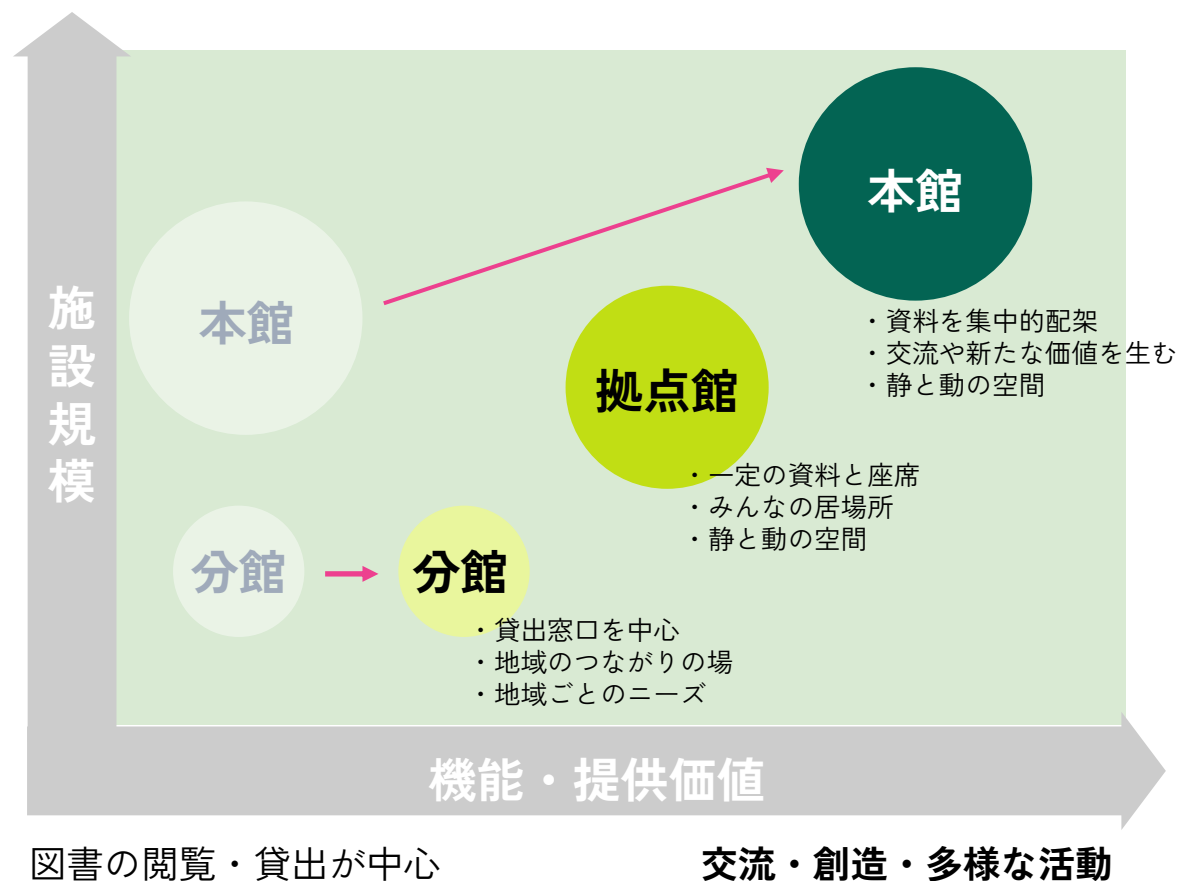
分館

- 地域の「つながりの場」とする
- 貸出返却サービス専用の窓口を中心としつつ、資料を配架している現在の空間を来館者が居心地良く過ごしたり、地域の交流の場となるなど、様々な使い方ができる場所へと機能転換する

柏市図書館の目指す姿

ネットワークの方向性—準分散型ネットワーク（仮）

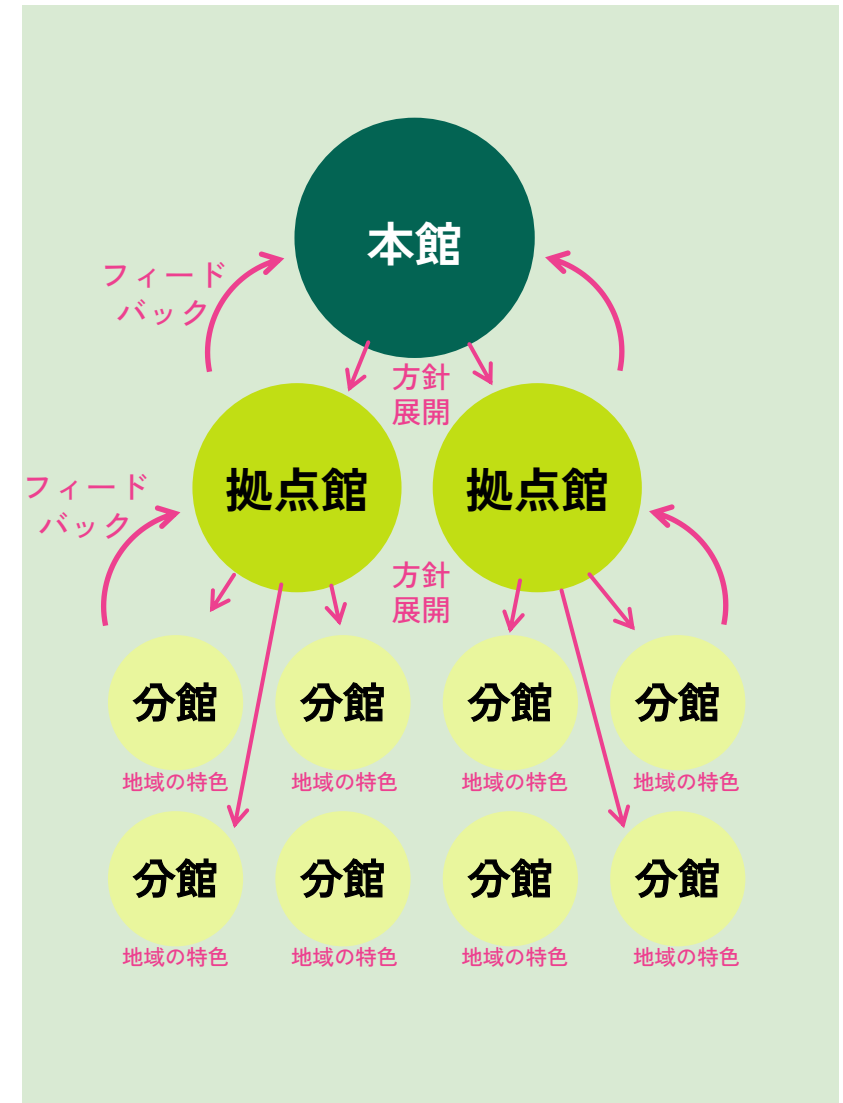
- 一極集中でも分散でもない形、市民のアクセス性と探求性を両立する
- 静かな「静」の空間と、会話や活動ができる「動」の空間をゾーニング、従来の図書館機能と新たな活動空間を両立する
- 図書館以外に複合する機能との連動性を意識し、相乗効果を生む



柏市図書館の目指す姿

本館を起点とした知識・情報の循環（仮）

- 本館の位置づけ → 柏市の多様な姿を現す「都市のエンジン」「地域メディア」「図書館＋クリエイティブ拠点」
- 本館が市全体の編集方針を定め、拠点館・分館が同じ方向性のもと、地域情報の収集・編集に取り組む体制
- 拠点館・分館では、各地域の状況に合わせて、新たな地域情報や活動を収集・編集し、本館へフィードバックする
- 本館を知の拠点としながら方針を展開し、拠点館・分館からの柏市全体の地域性の特色、及びそこで起こった新たな出来事についてフィードバックを繰り返すことで、市全体の知識を継続的に更新・発展させるネットワークをつくる



本館・拠点館・分館における取り組み

今後検討

04 施設整備

各館の整備に必要なこと

本館

- 本館の目指す方向性
- 整備予定地
- 施設規模（面積）
- 目標とする収容冊数

今後、市民意見も集約
した上で各項目について検討

各館の整備に必要なこと

拠点館

- 整備の進捗状況
- 今後の整備スケジュール等

分館

- 整備の進捗状況
- 今後の整備スケジュール等

今後、市民意見も集約
した上で各項目について
検討

05 管理運営

再編後の図書館に必要な人材・管理運営

■ これからの司書の在り方

図書館の役割が拡充するとともに、役割が拡充した次世代の司書が必要。
ビジョン・ミッション・コンセプトや、本館・拠点館・分館の役割を踏まえ、今後必要な人材や専門性、能力について検討。

■ サービスの拡大とコスト面の効率化

ICTの導入による業務効率化や市民参画等により、市全体で機能拡充を行う場合でも、コスト面の増大を抑え、効率的な運営を図る等の検討。

再編後の図書館に必要な人材・管理運営

新たな図書館を実現する管理運営手法

変革後の各図書館で柔軟性ある運営を実現するために、どのような管理運営手法が適切なのかを検証。

行政直営の特徴

- 地域固有の文化、課題解決の当事者
- 資料管理やアーカイブなどインプット型で力を発揮
- 地域に根ざしたテーマに腰を据えて取り組める立場

民間運営の特徴

- 情報発信、表現、企画などアウトプット型で力を発揮
- ネットワークによる横のつながり、地域を越えた連携
- 柔軟な機動力を活かした新しいサービス

市民参加・協働の特徴

- まちの人や情報・活動をつなぐ、発信する
- 地域コミュニティのハブとなりイベント企画や情報発信を行う
- 図書館の職員と、役割を補い合う関係性等

これらを組み合わせる等により、最適なものを検討する。